Vol.7
2019.01.01

SAITAMA CPA NEWS

日本公認会計士協会埼玉会

JICPA

CONTENTS

会長挨拶
日本公認会計士協会会長挨拶
財務省関東財務局長挨拶
埼玉県知事挨拶
副会長挨拶
2018年度第４四半期
及び2019年度　研修計画
委員会活動説明
平成30年度中間事業報告
年賀名刺広告
埼玉会行事
相談役コラム
会員コラム

会長挨拶

埼玉会 会長
小山 彰

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。埼玉会会員・準会員の皆様には新春をお健やかにお迎えのことと存じます。また日頃は埼玉会の会務にご協力をいただきありがとうございます。

昨年は公認会計士制度が創設されてから70周年という節目の年でした。私ども埼玉会も上田清司知事はじめ県内の自治体関係者、埼玉大学山口宏樹学長等はじめ多くのご来賓を大宮ソニックシティ小ホールにお迎えし、記念式典と気象予報士森田正光氏による講演会とを成功裡に行うことができました。

この式典を機に我々公認会計士の活躍の場が様々な分野へ広がっていることを改めて自覚するとともに、我々埼玉会会員一人一人が埼玉という地域社会にますます貢献していこうという思いを強くしたのではないかと考えます。

さて、本部の関根愛子会長は３年前の就任時に、「公認会計監査の信頼性向上」、「多様な領域での会計インフラへの貢献」、「人材育成・魅力向上」という会務における３つの柱を掲げました。

「公認会計監査の信頼性向上」では、協会でPTを作って協会自主規制の透明性の向上及び適時・迅速な審査・情報開示等を目的とし、自主規制制度の見直しを検討しています。

また、監査報告書の透明化、KAM（監査上の主要な検討事項）の問題ですが、昨年７月の監査基準の改定を受けて、協会では関係する監査基準委員会報告書等の改定作業に入っております。2021年３月期決算に係る財務諸表監査（金商法）から適用になります（早期適用も可能です）。これらの情報はホームページ等を通じて会員の皆様に提供できるよう努めていきたいと考えています。

次に、「多様な領域での会計インフラへの貢献」ですが、今後も税務や中小企業支援・公会計等について協会と連携しながら、研修会等を通じて会員へのこの分野での業務に資する有用な情報を提供していく所存です。

なお、埼玉会では中小企業支援コンベンションを昨年事業承継をテーマとして開催し、関東財務局他県内関係諸団体の皆様のご協力を得て盛大に開催することができました。このような催しを今後も視点を変えつつ継続的に開催できたらと考えています。

また、本年３月期からの監査対象範囲の拡大が残念ながら延期された社会福祉法人監査につきましても、今後も情報を収集し、研修会等通じて会員へ提供していくのは勿論のこと、社会福祉法人の皆様にも、我々の担う監査についてご理解いただけるよう努めていく所存です。

最後に、「人材育成・魅力向上」についてですが、今後も好評のサマースクール・「ハロー！会計」や県内の大学等での制度説明会を通じて少しでも受験者増に貢献出来たら、と考えています。また、公認会計士の仕事が取って代わられるとされるAIについても「むしろAIは活用していくもの」との協会の考えを皆様にご理解いただけるよう努力していく所存です。

さらに、協会では財政基盤を確保することが課題となっていることからPTで検討をした上で「持続可能な協会財政の在り方に関する提言」（公開草案）を公表して会員の皆様から意見を募り、本部も埼玉会に説明に来ていただきました。現在、集まった意見等につき検討をしているところで、７月の本部総会に諮られる予定になっておりますことも併せてご報告申し上げます。

どうぞ今後とも埼玉会の会務にご協力いただくとともに、私ども役員に対するご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、埼玉会の会員・準会員の皆様のご健勝・ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

公認会計士が持続可能な世界の実現に貢献し続けていくために

日本公認会計士協会会長
関根 愛子

2019年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素より日本公認会計士協会の会務にご理解ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

おかげさまで、2018年７月６日をもって、公認会計士制度は、制定から70周年を迎えました。今後も引き続き、公認会計士が、監査及び会計の専門家として、国民経済の健全な発展に寄与するという使命を果たしていくためには、経済や社会構造の変化、社会からの期待の変化に適応していくことが求められます。

2019年の年頭に当たり、これら変化とそれに適応していくための当協会の施策、そして未来に向けた取組について述べさせていただきます。

近時の社会構造の変化の中の大きな動きとして、社会全体での組織・事業の透明性向上の要請が挙げられます。とりわけ、資本市場においては、国際化・多様化が進む企業が持続的な成長を達成するために、情報開示の充実に関する取組が進められています。

公認会計士の業務においては、2018年７月に監査基準が改訂され、監査報告書に「監査上の主要な検討事項（KAM）」が記載されることとなりました。さらに、監査事務所の透明性に関連し、「監査品質の指標（AQI）」について取りまとめ、研究報告として公表いたしました。これらの取組を通じて、監査の透明性向上が少しでも促進されることを期待しています。

また、当協会においても、2018年よりアニュアル・レポートを作成し公表するなど、透明性ある事業運営を進め、社会に対して一層説明責任を果たしていくとともに、いただいたフィードバックを基にさらなる改善を行うことを目的とし、情報発信力向上に取り組んでおります。

私が当協会会長に就任してから早くも２年半が経過し、任期も、残すところ半年あまりとなりました。会長に就任した当初より、様々な場面で多様な形で活躍する公認会計士の支援を行うべく、会務を行ってまいりました。これは、公認会計士の自主規制団体として当然のことであり、今後も引き続き、しっかりと行ってまいりますが、同時に、職業専門家及びその自主規制団体として、様々な社会的課題の解決にかかわっていかなければならないという思いを強くしています。

現在、我が国では人口減少・少子高齢化の影響により、税収の減少や社会保障費の増大、さらには中小企業の後継者不足の問題が生じております。公認会計士は、社会福祉法人等の監査や事業承継を円滑に実施するための適切なサポート等を通じ地域経済の透明化・活性化にも貢献していかなければなりません。

さらに、現在、持続可能な世界を実現するために、多くの企業や組織が全世界的な課題解決を目標とするSDGsを踏まえた取組を進めており、当協会も、会計・監査の分野に限らず、様々な社会的課題の解決にも取り組んでいくべきであると考え、どのような形で社会に貢献していくことが適切であるかの検討を行っています。

任期の最後まで全力で走り切り、一層、公認会計士制度が発展できるよう、皆様とともに尽力していきたいと思います。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

財務省関東財務局長
田中 琢二

新年あけましておめでとうございます。
本年も日本公認会計士協会埼玉会及び会員の皆様方におかれまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

埼玉会は、小山会長をはじめとする執行部の皆様方のご尽力のもと、会計の専門家として厳正な監査の実施を行っていただいていることはもとより、地方公共団体や関係諸団体との連携・交流を深め、日々の活動を通じて地域社会の健全な発展に寄与されていらっしゃいます。その中で、日頃より、私ども関東財務局の業務運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

地域経済の活性化、地方創生を推進していくことは政府の最重要課題の一つとなっています。私ども関東財務局としては、「財政」、「金融」、「国有財産」、「経済調査」、「広報・相談」の各業務に注力していくことを通じて、埼玉県を含む当局管内の一層の活性化・発展に貢献していくことが重要な使命と考えております。
地域経済の活性化、地方創生を推進していく上では、地域の活力ある中小企業が独自の技術を磨き上げながら、雇用を創出して持続的に成長していくことが重要です。こうした企業を効果的にいかに支援していくかは、地方創生の大きな課題の一つです。

既存の技術やノウハウ、そして人材を組み合わせることで、新たな価値を創出していくオープンイノベーションの考え方がございます。これは、単に技術や企業戦略だけではなく、私たち、経済に関係する様々な主体の多種多様な組み合わせによることを含むものと認識しております。
中小企業支援の場面でも同様であり、公認会計士、地域金融機関、金融商品取引業者、企業の方々、地方公共団体、マスメディア、政府が連携していくことにより、中小企業の抱える事業承継等の問題解消に向けて価値を生み出していくことが重要です。多様な主体がアイデアを持ち寄ることにより、地域経済の活性化・地方創生が進展していくことが可能となるものと考えております。
既に、埼玉会におかれましては、昨年10月に「中小企業支援コンベンション」を初めて開催されるなどオープンイノベーションに繋がる取組みを進めていらっしゃいます。支援する企業の財務面を中心として全体像を把握しておられる公認会計士の担うべき役割は極めて重要であり、大きな期待が寄せられているところであります。

私ども関東財務局といたしましても、我が国経済にとって極めて重要な機能である会計監査を担う埼玉会及び会員の皆様方と、また、その他の関係者の皆様方と、引き続き、密接に連携していくことを通じ、新しい価値の創出に貢献して参りたいと存じますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

最後に、埼玉会の皆様方には、今後とも、会計の専門家として厳正な監査の実施に向けて、また、地域経済の活性化、地方創生の進展に向けての重要なプレイヤーの一員として、一層のご尽力をお願いいたしますとともに、日本公認会計士協会埼玉会のさらなるご発展と会員の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

埼玉の未来を切り開く

埼玉県知事
上田 清司

明けましておめでとうございます。日本公認会計士協会埼玉会の皆様には、監査・会計の専門家として、日頃より本県経済の健全な発展のため御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年の平昌オリンピック・パラリンピックでは、本県ゆかりの選手が大活躍し、全力を尽くす姿に大きな感動と勇気をもらいました。

いよいよ今年はアジア初となるラグビーワールドカップが開催されます。会場の熊谷ラグビー場は、世界最高峰の戦いにふさわしいスタジアムに生まれ変わりました。東京2020オリンピック・パラリンピックの準備も進んでいます。県民の皆さんと成功に向け取り組んでいきたいと思います。

さて、今年は平成最後となる節目の年です。

振り返れば、平成が幕を開けた1989年という年は世界の大転換期にありました。ベルリンの壁が崩壊し、東西冷戦が終結したのもこの年です。イデオロギー対立は終わったものの局地紛争や国家間のトラブルが世界中に拡散しています。経済の面では、保護主義が台頭し、混迷のさなかにあります。

日本においては、生産年齢人口は1995年をピークに減少し、2040年には総人口の５割強に低下すると見込まれます。また、産業構造の変化などから大都市への人口の集中が進み、地方を疲弊させています。近年株価の上昇など経済に明るい兆しが見えるものの、可処分所得は伸び悩み消費も低迷しています。

こうした中、誰もが幸せを感じられる社会を築くには、人口構造の変化に対応した社会の枠組みづくりや格差の是正、快適に生き生きと暮らせるスマート社会を実現するためのAIやIoTによるイノベーションを起こすことが重要です。

本県ではこうした課題の本質を捉え、日本をリードする施策を展開してきました。

貧困の連鎖を断つ生活保護世帯の子供への学習支援は、国を動かし法律に基づく制度につながりました。

高齢化に伴い医療費の増加が続く中、国民健康保険のデータを活用して糖尿病の重症化を予防し、人工透析への移行を防止する取組は、国において先進事例として紹介されています。

そして今、第４次産業革命ともいわれる変革期を迎えています。今後も航空・宇宙分野などの先端産業の創造や育成、AI・IoTなど先進技術の県内企業への普及を進めてまいります。

人生100年時代といわれる中、シニアの活躍が期待されています。

これまでも運動や食事の改善による「健康長寿埼玉プロジェクト」、地域デビューや就労などを支援する「シニア革命」に取り組んでまいりました。今後は一歩進めて経験豊かなシニアに、更に深く埼玉に関わってもらうような仕掛けを考えていきたいと思っています。

また、社会の変化に伴う格差の拡大にも対応していかなければなりません。例えば、県内でも数多く展開されている「子ども食堂」などの取組を多角的に支えていきたいと考えています。

これからも物事の本質を捉え、新たな時代を切り開く施策を埼玉から発信してまいりますので、県政への御理解と御協力をお願い申し上げます。

副会長挨拶

副会長（総務）
西川　正純

新春の候、埼玉会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年６月定期総会においては、多くの会員の皆様のご出席をいただき、第２年度の財務諸表等、第３年度の事業計画案及び予算案をご承認いただきましたことありがとうございました。

新年１月23日には、大宮ソニックシティ会議室において、埼玉弁護士会より斎藤耕平先生による「民法改正～企業実務への影響と対応のポイント～」についての会員研修会を実施いたします。研修会終了後には、パレスホテル大宮にて田中琢二関東財務局長、上田清司埼玉県知事をはじめ多くのご来賓をお招きしての新年賀詞交歓会を開催いたします。ご都合のよろしい会員の皆様には、研修会及び賀詞交歓会にぜひご出席いただければと思っております。

会務にあたりましては、協会諸施策に協力する一方、東京会や神奈川県会、千葉会とも情報交換をとりながら埼玉会独自活動を行っていくよう努めております。特に埼玉会では青年部を設け、49歳以下の埼玉会会員、準会員による活動を応援しています。青年部では部員企画の研修会の実施や部員相互交流のための懇親会の開催など、いろいろな活動を行っております。青年部活動についての連絡をご希望の会員、準会員の方は、事務局までご連絡いただきたくお願いいたします。

また埼玉会も３年目に入り地域会としての事業が増えていることから、事務局員を１名増員し、事務局長のもとに３名の女性職員による事務局体制をとり、会務の効率的な執行と会員サービスの向上をはかっていくことといたしました。今後とも会務へのご協力をよろしくお願いいたします。

副会長（業務）
工藤　道弘

明けましておめでとうございます。業務担当副会長の工藤道弘です。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の業務委員会の活動として、関東財務局等の国の機関、埼玉県庁等の地方公共団体、大学等教育機関、各種経済団体への表敬訪問を実施いたしました。また、埼玉会へ来会いただいたお客様への対応等や、彩の国中小企業支援ネットワーク会議等の外部会議への出席も行いました。さらに、各自治体から様々な業務推薦依頼があり、それらに対して会員の推薦をいたしました。

この他、昨年のトピックとしては、埼玉会として初めて中小企業支援コンベンションを開催したことです。このイベントは、中小企業支援対応委員会のメンバーが中心となって半年がかりで準備を進め開催に至ったものです。詳細は、中澤常任幹事の報告に委ねるとしますが、100名弱の参加者があり、基調講演及びパネルディスカッションさらにその後の懇親会と大変盛り上がり、成功裡に終了することができました。ありがとうございました。

新年度の活動ですが、「暮らしと事業のよろず相談会」に関する活動を中心に実施してまいります。というのも、今年は埼玉友好士業協議会が開催している暮らしと事業のよろず相談会の当番幹事会が、我々埼玉会に回ってきます。開催までの準備等に相当の日数及び労力を要することになります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、今年もよろしくお願い申し上げます。

副会長（経理）
飯野　浩一

新年明けましておめでとうございます。

埼玉会の皆様におかれましては、すこやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、埼玉会の事業、予算執行等について、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

昨年は、中小企業コンベンションなど新たに行われた事業を始め、地域社会への貢献を目指した事業が活発に実施されました。また研修事業を中心に会員サービスの向上も図られたのではないかと考えております。事務局経理事務体制もお陰様で安定してまいりました。

今年も本部施策に沿いながらも、地域会における会員の皆様の期待に応えられるよう会務に努めてまいります。

会員数は、平成29年11月30日の708名から平成30年10月31日現在で731名と、準会員数は、同様に133名から134名となっております。会員数は順調に増えてはいるものの一方で減少する状況もあり、大幅な増加となってはおりません。財政基盤への後押しにはなってはいるものの、消費税率アップを目前に控え、地域社会からの期待の高まりもあり、費用負担の増加が見込まれます。

会員の皆様には、会務へ多大な貢献をいただきながらたいへん心苦しいのですが、今後も財政状態へのご理解とご協力をお願い申し上げます。経理担当としましても、皆様の貴重な会費を有効に活用し、効率的な経理業務を事務局とともに努めてまいります。あらためて、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

副会長（厚生）
小川千恵子

あけましておめでとうございます。厚生担当副会長の小川千恵子です。

私が厚生担当副会長を仰せつかって早いもので３年目をむかえました。厚生委員会のメンバーを始めとして、事務局、会長、副会長、他の役員のみなさま方など、様々な方のお世話になりながら、何とか厚生部の事業を遂行してまいりました。みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、最初に思い浮かぶのは厚生部の一大イベントである親睦旅行です。昨年は上海に親睦旅行に行って参りました。公私ともに多忙な日々をお過ごしの会員のみなさまですから、旅行期間は３日間が限度であると思います。３日間となると旅行先の選択肢は限られてきます。埼玉会ではこれまでに済州島、台湾、香港・マカオと親睦旅行に行って参りました。なるべくなら親睦旅行としては訪れたことがない旅行先をという思いで上海を選びました。

また、恒例の東松山の日本スリーデーマーチですが、今年も公認会計士協会埼玉会として参加することができました。今年度は最終日の参加であったため、パレードにも加わることができました。パレードでは、「日本公認会計士協会埼玉会」の「のぼり」がよく見えず、係の方が何度も読み直してくれたので、きっと私たちの存在を周りの人たちにアピールできたことでしょう（笑）。

本年の親睦旅行企画は、何年も前から「次は伊勢志摩だ！」という声が聞こえていますが、はてさてどこに決まるのでしょうか。

本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

副会長（研修）
平山　孔嗣

あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

定例の研修会に加え業界を取り巻く情勢にタイムリーに対応した企画を皆様に提供すべく努めてまいりましたが、各種委員会の活動が活発になり、徐々にではありますが充実した内容をご提供できたかなと思っております。

昨年も年末研修においては、会計検査院より検査院長小林麻理先生をお招きし、国の会計検査につき、普段お聞きできないような内容を埼玉で開催できたことは誇りであると考えます。

研修室でのライブ、中継、DVDと必修科目だけでなく、せっかくの皆様の貴重な時間を割いての受講に際し、質の高いものを提供すべく研修員会は今年も企画いたします。また、新春には恒例の田中琢二関東財務局長様にご講演いただく予定です。また、皆様のCPE取得100％を目指して、受講の利便性を高めることに努めるとともに、隣接士業の研修義務達成へ一括申請などを通じ支援も進めてまいります。

年度末に向けて、学校法人、社会福祉法人関連等の業務密接のライブ研修、必修科目のDVDの研修もできるだけ用意いたします。会員各位におかれましては取り忘れなど無きようスケジュール調整等よろしくお願い申し上げます。

研修委員会では、質疑応答可能なライブ研修の一層の充実を考えております。講師、内容等ご要望あれば事務局にお願いいたします。

副会長（調査研究）
土屋文実男

新年明けまして、おめでとうございます。

埼玉会の会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

地域会となった埼玉会がスタートし、私が小山会長のもとで副会長として調査研究委員会を担当させていただくようになって、いよいよ最終コーナーを迎えようとしております。

調査研究委員会は、財務省関東財務局との連絡窓口の役割を果たしています。関東財務局は埼玉会の隣の駅に位置しますから地理的に近いこともあり、連絡会等で密接な関係を築いています。

また、８つの委員会すなわち公会計委員会、学校法人委員会、公益法人等委員会、社会福祉法人委員会、NPO法人委員会、税務委員会、中小企業支援対策委員会、医療法人委員会を管轄します。この８つの委員会には、報告書等の成果物を求めるもではなく、自主的な勉強会ともいえるものです。この委員会では、調査研究委員会が推薦している埼玉会会員の本部専門委員等から、本部からの情報をいち早く入手しており、それぞれの専門分野からの埼玉会への問い合わせの受け皿となるものでもあります。埼玉県を中心とした行政の専門員への推薦依頼等に積極的に答えています。委員会で専門的能力を高め、会員の皆様のビジネスに役立つものと期待しています。また、専門的な知識の研鑽だけでなく、会員相互の情報交換や親睦にも役立っています。

興味を持っていただけた皆さまは、遠慮なくご連絡下さい。委員会の活発な活動には、会員の皆様の積極的な参加が必要不可欠であります。

本年も会員の皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

広報委員会は、①SAITAMA CPA NEWSの発行、②制度説明会の実施、③ハロー会計講座の実施、④各種PR広告の掲載、⑤その他マスコミへの対応を主な事業として活動を行っております。

SAITAMA CPA NEWS は第６号（夏季号）、第７号（新年号）を発行しております。原稿及び新春挨拶広告につきましてはご協力ありがとうございました。制度説明会につきましては、４月に獨協大学、７月に埼玉大学、11月に駿河台大学を訪問して説明会を実施しております。ハロー会計につきましては、４地域会合同事業として、小学生を対象とした公開講座「ハロー！会計サマースクール」を８月に開催し、埼玉新聞に記事が掲載されました。各種の広報事業に参加された会員の皆様、ありがとうございました。

また、特別事業として、平成30年７月に日本の公認会計士制度が70周年を迎えたことを記念して、総務委員会、厚生委員会及び青年部と共同で、８月４日にソニックシティにて70周年記念式典、記念講演会及び大宮パレスホテルにて記念パーティーを開催しました。詳細は、SAITAMA CPA NEWS第６号に記載しております。

今後も会員相互の情報交換の手段を提供し、また地域社会に貢献する公認会計士をPRするため、積極的に事業を行って参りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

副会長（広報）
佐久間仁志

2018年度第４四半期及び2019年度　研修計画

2018年度		研修内容	項目	単位
１月７日	D	パナマ文書・パラダイス文書の公表と当局の対応	税務	2
	D	日本の３種類の株式会社統治形態と社外役員の役割と責任	コンサル	2
１月８日	D	「収益認識に関する会計基準（案）」等に関する解説・前半	会計	2
	D	「収益認識に関する会計基準（案）」等に関する解説・後半	会計	2
１月18日	L	本部中継　新春研修	未定	未定
１月23日	L	新春研修　民法改正	組織環境	2
	L	新春研修　財務局長講話	未定	1
２月５日	L	学校法人（幼稚園）の財務分析	会計	1
	L	社会福祉法人の指導監査実務とポイント	監査	1
	L	所得税に関する主な相談事例	税務	2
	L	本部会長会務報告	倫理	1
２月	L	春季研修	未定	未定
２月12日	D	倫理規則等改正について－違法行為への対応－ローテーション	倫理	2
	D	「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の留意事項	会計	2
２月13日	D	「業務処理統制の運用評価手続に関する研修」	監査	2
	D	「実証手続におけるCAATの利用」	監査	2
３月19日	D	監査報告書の長文化（透明化）	監査	2
	D	「新任社外役員オリエンテーション研修」	倫理	2
３月20日	D	監査事例研修会前半①社会福祉法人会計②学校法人会計	監査	2
	D	監査事例研修会後半①職業倫理②企業会計・監査	①倫理 ②必須	3
３月27日	D	不正への対応～最近の動向と監査での対応～	監査不正事例	2
	D	倫理規制改正に向けた動向について－違法行為への対応－ローテーション	倫理	2
３月28日	D	倫理規制改正に向けた動向について－違法行為への対応－ローテーション	倫理	2
	D	不正調査の基礎知識～デジタルフォレンジックの活用	監査不正事例	3

DはDVD　Lはライブ研修です。
この他に毎月最新のDVD研修会や各委員会主催の研修会を実施します。
研修情報は適宜HPを更新しますので、ご覧ください。
研修の実施時間・申込みにつきましては、事務局に問い合わせください。

税理士研修制度の受講時間の申請については税理士会との取り決めにより税務・会計及び一部その他の項目については一括して申請できますので、ご利用ください。

2019年度		研修内容	項目	単位
４月５日	L	医療法人委員会主催研修会	会計	2
４月24日	L	春季監査事例研修会	監査の品質	5
４月16日	D	組織内会計士研修会「IPO準備会社の組織内会計士に市場が期待すること」	コンサル	2
	D	「次世代ITシリーズ第三弾最新ICTで変革する金融サービス」	組織環境	2
４月17日	D	OECD・BEPSプロジェクトとその後の国際税務の動き	税務	3
	D	「地方税の申告実務」	税務	2
５月16日	D	事業承継税制の改正と特例承継計画・事業承継補助金等についての指導助言のポイント	税務	2
	D	「内部統制報告制度の運用の実効性の確保について」の解説	監査	2
５月17日	D	国の公会計の取組みについて	会計	2
	D	消費税「軽減税率制度」＆「インボイス制度」について～	税務	2
6月	D	収益認識に係る新会計基準と法人税法改正への実務対応	税務	2
	D	医療法人監査のための基礎知識	監査	2
6月	D	企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」等に関する解説	会計	2
	D	公認会計士の職業倫理－最近の相談事例等を踏まえて－	倫理	2
８月	L	不服審判所　最近の採決事例	税務	2
８月	L	夏季研修　改正税法　事業承継税制	品質	4
８月	L	夏季全国研修会１	未定	未定
８月	L	夏季全国研修会２	未定	未定
10月	L	秋季全国研修会	未定	未定
11月	L	新人研修	コンサル	2
11月	L	巡回研修（川越）大会（仮）	未定	2
11月	L	秋季事例研修会	税務	4
12月	L	冬季全国研修会	未定	未定
12月	L	年末研修会	監査・コンサル	4
１月17日	L	新春全国研修会	未定	未定
１月	L	新春研修　局長講話	その他	1
	L	新春研修	税務・法務	2
２月	L	春季全国研修会	未定	未定
２月	L	学校法人	監査	1
	L	社会福祉法人	監査	1
	L	非営利法人	会計	2

委員会活動説明

ＩＴ委員会

委員長　新江　　明

IT委員会としましては、埼玉会におけるITに関する各種インフラをより活用しやすくしていきたいと考えおります。最近では、埼玉会に研修等でお越しの際に、休憩時間などでPCなどでメールを確認されたい会員の皆様のため、無料にてWi-Fiを活用できるように、ログイン方法も研修室内に設置いたしました。

今後は埼玉会のHPについて、会員の皆様がより分かりやすく研修等の情報を入手できるように、見直しをしていきたいと考えております。

合わせて、埼玉会にてITに関する研修会開催の要望がありましたら、是非お寄せ頂きたいと思います。（監査に関するIT知識、会計事務所での内部管理としてのIT活用など）

この他、ITに関する各種要望がありましたら、是非埼玉会までお寄せ頂きたいと思います。今後とも会員の皆様の便宜に資するように、できる限りの改良をしていきたいと思います。また、IT委員会の活動に興味のある会員がおりましたら、積極的に活動に参加していただきたいと考えております。是非、埼玉会までご連絡ください。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

学校法人委員会

委員長　矢部　光貞

学校法人委員会では、埼玉県総務部学事課の皆様と活発な交流を行い、貴重な意見交換を行っております。

本年度は平成30年７月６日に第１回の委員会を開催し、新年度のメンバーの顔合わせとフリーディスカッションを行いました。委員会では、学事課様から昨年度の私立学校の実地検査で指摘が多かった事項についてご説明いただきました。また、学校法人の会計処理や業務運営についてディスカッションを行い、活発な意見交換ができました。

学事課様との交流により、現場での情報や埼玉県の実情等をお聞きしたり、会計士側から要望をお伝えすることができます。日ごろの疑問点を解消することもでき、大変有意義な場となっております。今後も引き続き開催していきたいと考えております。

また、平成31年２月５日には学事課様から講師をお招きして定例研修会を開催する予定ですので、奮ってご参加ください。

学校法人の監査に従事しておられる方やこれから業域を広げようと思われている方、少しでも学校法人会計や監査にご興味のある方、是非お気軽にご参加ください。

中小企業支援対応委員会

委員長　中澤　仁之

当委員会は、現在委員18名で活動しています。

平成30年度の主な活動としては、９月３日（月）に会員向け研修会を、また、10月19日（金）に中小企業の事業承継支援をテーマに、中小企業支援コンベンション及び懇親会を開催しました。

研修会では、当委員会副委員長の青山裕之氏による「経営力向上計画及び先端設備導入計画に関連する税制と中小企業支援施策について」、及び、当委員会委員の上楽裕三氏による「M&Aにおける企業価値評価について」の２つのテーマで研修を行いました。研修会場がほぼ満席になるほどの盛況でした。

中小企業支援コンベンションでは、６月から毎月１回のペースで委員会を開催し、コンベンション全般について打ち合わせをし、内容の検討を行いました。また、委員総動員で、会場であるホテルとの打ち合わせや、ご来賓・ご招待者へのご挨拶回り、パネルディスカッションの打ち合わせなどを積極的に行いました。

当委員会は、中小企業支援に係る関係諸団体との連携推進と、中小企業支援に係る会員向け研修の企画・開催とを二つの柱として、今後も取り組んで行きます。

公会計委員会

委員長　長内　温子

今年度は秋に埼玉県議会議員を対象とした地方公会計セミナーを計画していたため、８月９日に公会計委員会を開催して、セミナー実施に向けた打合せを行いましたが、残念ながら諸事情により今年度の実施は見送りとなりました。

公会計研修会は、年内に２回開催しました。まず11月20日に、当公会計委員会のメンバーである髙畑明久氏に、「統一的基準による地方公会計制度の目的と埼玉県の財務状況」について解説していただきました。埼玉、千葉、神奈川の３県比較では、具体的な数値を用いて埼玉県の抱える問題、特に、地方債残高を固定資産残高で除した「将来世代負担比率」の高さが際立っており、将来世代の負担で県の資産が維持されている状況がよくわかりました。最後に公会計情報の課題・問題点についても触れていただき、とても内容の濃い充実した研修会でした。

12月15日には、会計検査院長の小林麻理氏をお招きし、「会計検査院の業務と決算報告」についてご講演いただきました。なかなか聞くことのできない内容で、多くの会員の方にご参加いただき、１年を締めくくるにふさわしい研修会となりました。

NPO法人委員会

委員長　金子由里子

当年度も昨年度と同様、NPO法人に関する研修、埼玉県共助社会づくり課の専門家ボランティアとしてマッチング事業への関与、NPO法人会計税務相談へのプロボノとしての参加、NPO法人の会計や税務について事例研究の勉強会の開催を予定しております。昨年10月29日には埼玉県共助社会づくり課 野口佳恵氏、共助仕掛人 藤井美登利氏、税理士の脇坂誠也先生をお迎えして当委員会主催の研修を開催いたしました。多くの会員が出席する中、大変実りある研修となりました。また、11月には埼玉県共助社会づくり課主催の共助コンにも専門家ボランティアとして参加いたしました。NPO法人に関して遺贈による寄付、空き家対策、休眠預金、民泊等のトピックが沢山ございます。今後は我々公認会計士の活躍の場も拡充すると思います。会員の皆様方へNPO法人に関して有用な情報を積極的に発信していきたいと思っております。NPO法人にご興味のある会員の方は当委員会へぜひご入会ください。お待ちしております。

公益法人等委員会

委員長　村田　克也

公益法人等委員会は、現在12名（委員長、副委員長３名含む）で活動しています。活動内容ですが、主に埼玉県が出資する公益法人を監査する監査人を育成しようとする目的から、公益法人会計の研修を毎年実施しています。

例年、公益法人等委員会で当年度の計画を策定し、当該委員会を踏まえて、研修を企画し実施しています。当年度は、10月１日（月）に第１回公益法人等委員会を開催いたしました。そこで行われた議論として、公益法人の税務に関して研修を実施してみてはどうかとの意見を頂戴いたしました。それならばと、協会本部でも活躍されています中村友理香先生（埼玉会の幹事でもあります）に御願いしまして、12月10日（月）にテーマ「公益法人等にまつわる税務」として研修を実施いたしました。顧問税理士でないと中々携われない部分だと思いますが、監査する立場としても、とても参考になり大変御好評をいただきました。中村友理香先生には厚く御礼申し上げます。

埼玉会における公益法人等委員会のメンバーは、経験豊富なベテランの会員だけでなく、全くの未経験や若い会員まで、経験・知識共に様々な会員が在籍しています。委員長である私も、数年前までは全くの未経験で知識もほとんどない状態からのスタートでしたので、同じように未経験な会員も積極的に受け入れをしています。

公益法人会計及び監査に御興味のある会員は、是非とも御気軽に御参加ください。

社会福祉法人委員会

委員長　大野　夏美

今年度の社会福祉法人委員会は、主に、別途記載いたしました名刺交換会、そして、埼玉県福祉部監査課及びさいたま市監査部監査指導課の方々との会計及び会計監査に関する交流会を開催いたしました。交流会においては、社会福祉法人独特の会計について判断に迷うことを、参加した委員とざっくばらんに意見交換したり、公認会計士が行う監査について行政の方々にご理解いただいたりと、相互に実りあるものとなりました。特に、「公認会計士が行う監査の具体的な説明」については、行政の方々に、非常にご興味を持っていただいております。これらのことをうけて、来年度の交流会は、「公認会計士の監査と行政の監査の相互理解を深める」ことを主眼として、企画及び実施して参りたいと考えております。委員の皆様に、貴重な機会となることを主眼に交流会の開催をして参りたいと考えておりますので、積極的に御意見等を発言せずとも、ぜひ、お気軽にご参加下さいませ。

また、年明け２月には、恒例となりました、埼玉県福祉部監査課の方を講師としてお呼びした研修を行う予定です。

次年度以降も、何かとトピックとなる社会福祉法人関連に対して、委員及び会員の皆様に対して有益な活動を行って参ります。

税務委員会

委員長　森山　謙一

税務委員会におきましては、研修会の企画や実施、租税調査会等の会議への参加などを主な活動内容としております。

研修会につきましては、税務委員会のそもそもの設立趣旨である「会員の税務研修単位２単位を保証するように研修を実施する」にもございますように、CPEの必修である税務研修２単位を保証する機会を会員の皆様にご提供できるように計画し、実施をしております。

当年度におきましても、６月15日（金）には恒例となっております関東信越国税不服審判所の石川紀所長及び審判官の白井美和子氏を講師にお迎えし、国税不服申立制度について、並びに、最近の裁決事例についての研修会を開催させていただきました。制度そのものや実際の裁決事例について大変分かりやすくご解説をいただき、また、会員の皆様にも多くのご出席もいただいておりますため、来年度以降も継続して開催させていただけるようご提案していきたいと考えております。

上記研修に限らず今後も研修会を開催し、会員の皆様の情報収集と税務研修単位を確保する機会をご提供できるよう計画してまいります。

また、研修以外でも、会員の皆様への有用な情報の提供に資するよう会議等への参加や、過年度に実施されておりました関東信越国税局等関係機関への表敬訪問等について、委員の同行なども実現できればと考えております。

平成30年度中間事業報告

◆事業報告（及び活動報告）

平成30年

4月4日（水）	公認会計士制度説明会（獨協大学）
4月5日（木）	経理委員会（第１回）、関東財務局との連絡会（東京会と合同）
4月6日（金）	経理委員会（第２回）、川口市長訪問
4月11日（水）	経理委員会（第３回）、埼玉友好士業協議会臨時幹事会、埼玉弁護士会新役員披露パーティー
4月12日（木）	【DVD】監査提言集の解説～「財務報告に係る内部統制の監査」ほか～ 【DVD】倫理規制改正に向けた動向について～違法行為への対応～ローテーション
4月13日（金）	【DVD】東京会IT委員会研究報告書「フィンテックが公認会計士業務に与える影響」の解説
4月17日（火）	正副会長常任幹事会（第１回）、総務委員会（第１回）
4月19日（木）	関東財務局　H30年度税制改正に関する講演会
4月23日（月）	監事監査
4月24日（火）	研修委員会（第１回） 【DVD】医療法人の税務 【LIVE】監査事例研修会[社会福祉法人会計、企業会計・監査、倫理、学校法人会計]
4月25日（水）	70周年記念事業PT会議（第３回）・埼玉県監査事務局長来会
4月27日（金）	役員会（第１回）
5月1日（火）	関東信越税理士会訪問、正副会長常任幹事会（第２回）
5月18日（金）	総務委員会（第２回）、埼玉県土地家屋調査士会定期総会懇親会 彩の国中小企業支援ネットワーク会議
5月19日（土）	埼玉司法書士会定期総会懇親会
5月22日（火）	【DVD】不正への対応～最近の動向と監査での対応～ 【DVD】倫理規則改正に向けた動向について－違法行為への対応－ローテーション
5月23日（水）	埼玉県商工会議所連合会通常総会懇親会 【DVD】法人税法22条の校正処理基準と企業会計の基準 【DVD】東京会IT委員会研究報告書「フィンテックが公認会計士業務に与える影響」の解説
5月24日（木）	埼玉県行政書士会定期総会懇親会、70周年記念事業PT会議（第４回）
5月29日（火）	埼玉県宅地建物取引業協会社員総会会員交流会
6月4日（月）	埼玉県上田知事訪問
6月5日（火）	中小企業支援対応委員会（第１回）、埼玉県中小企業再生支援協議会全体会議
6月8日（金）	総務委員会（第３回）
6月11日（月）	正副会長常任幹事会（第３回）
6月12日（火）	定期総会議長団との打合せ、関東財務局表敬訪問
6月15日（金）	【LIVE】国税不服審判所と最近の裁審事例～、本部租税施策検討PTからのヒアリング、懇親会
6月18日（水）	越谷市長訪問、埼玉県不動産鑑定士協会定期総会懇親会への出席、東京会定期総会懇親会
6月19日（火）	広報委員会、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会訪問、さいたま市監査指導課訪問、社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会訪問
6月20日（水）	関東信越税理士会総会懇親会、神奈川県会定期総会懇親会
6月21日（木）	埼玉県福祉監査課訪問、社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会訪問
6月22日（金）	役員会（第２回）・第３回定期総会
6月23日（土）	埼玉県中小企業診断協会通常総会懇親会
6月25日（月）	公認会計士協同組合定期総会懇親会
6月26日（火）	千葉会定期総会懇親会
6月27日（水）	70周年記念事業PT会議（第５回）
6月28日（木）	川越市長表敬訪問
7月3日（火）	埼玉友好士業協議会定例会
7月4日（水）	埼玉県共助社会づくり課打合せ
7月5日（木）	関東財務局理財部平岡部長来会
7月6日（金）	学校法人委員会　埼玉県との検討会、埼玉新聞社「公認会計士の日」広告掲載 神奈川県会70周年記念式典・講演会・懇親会
7月9日（月）	制度説明会（埼玉大学）、関東財務局次長来会
7月10日（火）	【DVD】人間とエラー（前半・後半）
7月11日（水）	【DVD】倫理規則改正に向けた動向について－違法行為への対応－、正副会長常任幹事会（第４回）
7月13日（金）	70周年記念PT（６回）
7月17日（火）	社会福祉法人委員会（第１回）・埼玉友好士業協議会幹事会（第１回）
7月18日（水）	関東信越税理士会埼玉県支部連合会総会
7月19日（木）	埼玉会親睦旅行（上海）（7/19～7/21）
7月23日（月）	総務委員会（第４回）、本部70周年記念式典・講演会・懇親会、関東財務局浅野局長来会
7月24日（火）	本部定期総会（本部LIVE配信）
7月25日（水）	中小企業支援対応委員会（第２回）
7月30日（月）	事業承継ネットワーク全体会議
7月31日（火）	埼玉県事業引継ぎ支援センターの石川統括責任者と、中小企業支援コンベンションに関する打合せ
8月1日（水）	役員会（第３回）、本部財政構造PT説明会、関東財務局田中局長来会 中小企業支援対応委員会による埼玉縣信用金庫表敬訪問
8月2日（木）	中小企業支援対応委員会による青木信用金庫表敬訪問 中小企業支援対応委員会による日本政策金融公庫表敬訪問
8月3日（金）	中小企業支援対応委員会によるさいたま市経済局表敬訪問
8月4日（土）	公認会計士制度70周年記念式典・記念講演・記念パーティー
8月6日（月）	中小企業支援対応委員会による埼玉りそな銀行表敬訪問
8月7日（火）	調査研究委員会　埼玉会調査研究所管委員会全体打合せ、国税不服審判所栗原所長就任挨拶来会、中小企業支援対応委員会による埼玉県産業労働部表敬訪問

8月9日（木）	中小企業支援対応委員会による武蔵野銀行表敬訪問、中小企業支援対応委員会による埼玉県信用保証協会表敬訪問、中小企業支援対応委員会による（一社）埼玉県経営者協会表敬訪問、中小企業支援対応委員会による（一社）埼玉県商工会議所連合会表敬訪問、公会計委員会
8月14日（火）	議員向け研修会打合せ
8月16日（木）	【DVD】倫理規則改正に向けた動向について 【DVD】組織再編税制の改正
8月17日（金）	正副会長常任幹事会（第５回） 【DVD】倫理規則改正に向けた動向について 【DVD】仮想通貨ビットコインとブロックチェーン
8月20日（月）	中小企業支援対応委員会による飯能信用金庫表敬訪問
8月22日（水）	中小企業支援対応委員会による埼玉県中小企業再生支援協議会表敬訪問、中小企業支援対応委員会によるさいたま商工会議所表敬訪問、中小企業支援対応委員会による埼玉弁護士会表敬訪問、中小企業支援対応委員会による（公財）埼玉県産業振興公社表敬訪問、中小企業支援対応委員会による埼玉経済同友会表敬訪問、中小企業支援対応委員会による埼玉県商工会連合会表敬訪問
8月24日（金）	中小企業支援対応委員会による川口信用金庫表敬訪問、地域会活動評価第一次評価（第２グループ）
8月25日（土）	ハロー！会計「サマースクール2018」
8月28日（火）	【LIVE】H30年税制改正研修会 ①消費税　②法人税
8月29日（水）	神奈川県会・千葉会・埼玉会三会ゴルフコンペ
8月30日（木）	埼玉県事業引継ぎ支援センターの石川統括責任者と、中小企業支援コンベンションに関する打合せ
8月31日（金）	中小企業支援対応委員会（第３回）、埼玉友好士業協議会さいたま市長表敬訪問
9月3日（月）	厚生委員会、選挙管理委員会、事業承継ネットワーク事務局来会面談 【LIVE】M&Aにおける企業価値評価について 【LIVE】経営力向上計画及び先端設備導入計画に関連する税制と中小企業支援施策について
9月4日（火）	関東財務局長表敬訪問
9月5日（水）	関東財務局との中小企業支援コンベンションに係る打合せ・選挙管理委員会（第１回） 10/19中小企業支援コンベンション会場打合せ（ホテルブリランテ武蔵野）
9月7日（金）	写真同好会
9月10日（月）	【LIVE】社会福祉法人研修会及び名刺交換会 【LIVE】本部からの重要なお知らせ ①議決権行使等における電子的方法の導入の説明　②財政構造PT説明
9月14日（金）	研究大会　徳島大会
9月18日（火）	広報委員会編集会議（埼玉CPAニュース６号）（第１回）
9月19日（水）	中小企業支援対応委員会（第４回） 【DVD】フィンテックをめぐる最新動向～経済社会へのインパクト～ 【DVD】会社が決算早期化を達成するために公認会計士として会社にどう助言すべきか？
9月20日（木）	【DVD】平成30年３月期決算の税制改正留意点（法人税） 【DVD】経理部門の「働き方改革」～IT知識を活かして「攻める経理」を構築する～
9月21日（金）	埼玉友好士業協議会幹事会（第２回）、総務委員会（第５回）
9月27日（木）	関東財務局との連絡会
10月1日（月）	公益法人等委員会（第１回）、役員会（第４回）
10月3日（水）	三地域会総務打合せ
10月4日（木）	四地域会会長打合せ・第46回公認会計士フォーラム神奈川大会
10月5日（金）	SAITAMA CPA NEWS　第６号発行
10月9日（火）	中小企業支援対応委員会（第５回） 【DVD】組織再編税制の改正 【DVD】公認会計士社外役員ネットワーク
10月10日（水）	【DVD】国際電子商取引 【DVD】組織内会計士オリエンテーション
10月11日（木）	第59回西日本連合総会宮崎大会懇親会
10月12日（金）	第59回西日本連合総会宮崎大会記念講演会
10月19日（金）	【LIVE】中小企業支援コンベンション［関東財務局長・関東経済産業局産業部長出席］
10月22日（月）	埼玉県商工会議所第56回埼玉県商工会議所議員大会懇親会
10月24日（水）	医療法人委員会（第１回）
10月26日（金）	埼玉会中間監事監査、よろず相談会街宣活動
10月29日（月）	【LIVE】NPO法人委員会研修 関東信越国税局・関東信越国税不服審判所表敬訪問（東京会と合同）
11月1日（木）	総務委員会（第６回）
11月3日（土）	埼玉友好士業協議会「暮らしと事業のよろず相談会」
11月4日（日）	第41回日本スリーデーマーチ参加
11月5日（月）	社会福祉法人委員会　埼玉県、さいたま市との検討会
11月8日（木）	叙勲お祝い（本部・埼玉会）
11月13日（火）	駿河台大学制度説明会・東京会慶寿会（於：第一ホテル東京）
11月14日（水）	選挙管理委員会（第２回）
11月17日（土）	【LIVE】巡回研修会、懇親会（越谷市）
11月20日（火）	【LIVE】統一的基準による新地方公会計研修会
11月22日（木）	公認会計士社外役員ネットワーク特別セミナー（本部LIVE配信）、埼玉県上田知事表敬訪問
11月26日（月）	総務委員会（第７回）
11月27日（火）	監査事例研修会、選挙管理委員会（第３回）
11月28日（水）	青年部主催研修会・懇親会
11月30日（金）	広報委員会編集会議（埼玉CPAニュース７号）（第２回）
12月3日（月）	役員会（第５回）
12月10日（月）	公益法人委員会研修会、公益法人委員会（第２回）、選挙管理委員会（第４回）
12月15日（土）	忘年研修会・懇親会

謹賀新年

KPMG あずさ監査法人

有限責任あずさ監査法人 北関東事務所

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町１－10－17
シーノ大宮サウスウイング14階
TEL 048-650-5390
FAX 048-650-5381

公認会計士彩の国監査団
理事長　荒井　伸夫

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町４丁目41番地
ASPERO BLD ３階
（荒井公認会計士事務所内）
TEL 048-796-5070
FAX 048-796-5071

Deloitte. トーマツ.
デロイト トーマツ

有限責任監査法人トーマツ さいたま事務所

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町１丁目９番４号
エクセレント大宮ビル
TEL 048-641-7220
FAX 048-641-7256

株式会社日本会計士学館
代表取締役社長　丹羽　宏己

〒102-0074
千代田区九段南４－３－13
麹町秀永ビル３階
TEL 03-3515-8950
フリーダイヤル 0120-393-293

荒　井　伸　夫

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町４丁目41番地
ASPERO BLD ３階
TEL 048-796-5070
FAX 048-796-5071
E-mail araicpa@lake.ocn.ne.jp

飯　野　浩　一

〒349-0121
蓮田市関山１丁目１番17号
TEL 048-769-5501

遠　藤　忠　宏

〒344-0038
春日部市大沼５丁目122番地２
TEL・FAX 048-738-3520

大　野　夏　美

〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町４－764－101
TEL 048-657-2255
FAX 048-657-2256
E-mail ono-cpa-office@tkcnf.or.jp

小　川　千恵子

工　藤　道　弘

〒330-0844
さいたま市大宮区下町３－７－１　Ｆ804号
TEL 048-648-9598
FAX 048-648-9599

熊　木　雄太郎

〒335-0016
戸田市下前１－13－15
TEL 048-443-3301
FAX 048-445-5792

小　山　　彰

〒333-0848
川口市芝下２丁目３番11号
TEL 048-266-2884
FAX 048-267-3095

佐久間　仁　志

〒350-1122
川越市脇田町15-15 古賀ビル301号
佐久間公認会計士事務所
TEL 049-228-3336
FAX 049-228-3337

柴　田　英　樹

〒336-0021
さいたま市南区別所７－６－８
ライブタワー武蔵浦和内
TEL・FAX 048-816-3990

土　屋　文実男

〒330-0053
さいたま市浦和区前地１－２－15
TEL 048-887-2566
FAX 048-886-8226
E-mail f-tsu@jcom.home.ne.jp

中　澤　仁　之

〒336-0026
深谷市稲荷町２丁目４番38号
TEL 048-580-4114
FAX 048-580-4115

西　川　正　純

〒350-0063
川越市幸町１番地７
TEL 049-224-0320
FAX 049-224-0636

平　山　孔　嗣

〒335-0002
蕨市塚越１－８－６
TEL 048-442-5590
FAX 048-442-6590

蛭　川　俊　也

〒360-0033
熊谷市曙町３－62－２
TEL 048-525-0685
FAX 048-522-5941
E-mail cpahiru@tkcnf.or.jp

真　下　和　男

〒355-0028
東松山市箭弓町１－17－４
TEL 0493-22-2813
FAX 0493-22-2815

宮　原　敏　夫

〒330-0052
さいたま市浦和区本太４－14－８
TEL 048-834-1155

村　田　克　也

〒360-0022
熊谷市戸出262番地３
TEL 048-501-5001
FAX 048-501-7080
URL http://www.km-tax.com

山　本　清　次

〒344-0062
春日部市粕壁東１－16－14
TEL 048-754-5500
FAX 048-754-0521

吉　島　一　良

〒357-0036
飯能市南町２番２号
TEL 042-974-4166
FAX 042-974-4167

埼玉会行事

叙勲のお知らせ

山崎彰三会員、旭日中綬章受章、誠におめでとうございます。

平成30年11月３日の文化の日に、公認会計士功労により２名が叙勲を受章されましたが、そのうち１名が、埼玉会会員の山崎彰三氏であります。

山崎彰三会員は、協会本部会長を始め、下記のように長年にわたる公認会計士業界への功労が認められ、このたび旭日中綬章を受章されました。誠におめでとうございます。

11月８日、伝達式の帰りに山崎会員ご夫妻が本部に立ち寄られた際に本部主催によるお祝いの会が催され、埼玉会からも小山会長、土屋副会長、佐久間が出席してお祝いを申し上げました。　（佐久間仁志）

◆山崎彰三会員の日本公認会計士協会での功労歴◆

本部理事	平成７年７月～平成10年７月
本部常務理事	平成10年７月～平成16年７月
本部副会長	平成16年７月～平成22年７月
本部会長	平成22年７月～平成25年７月
本部相談役	平成25年７月～

社会福祉法人との交換会の活動

今年度は、平成30年９月10日に、社会福祉法人様及び行政の方々をお呼びし、埼玉会会員との名刺交換会を開催いたしました。この文章が記事になっているころには、明確になっているかもしれませんが、開催の準備段階にあっては、収益30億円超等の社会福祉法人様に対して法定監査の監査報告書が初めて提出されたばかりであり、その後の予定は、ぼんやりとしたものでした。従って、社会福祉法人様のご参加は、予想通り多くはなかったものの、監査権限が付与された市町村の行政担当者様にもお声掛けをし、結果として、御好評をいただけました。当初は、参加者人数が確定しなかったため、当日のスケジュールも柔軟に変更有りの状態でした。公認会計士の監査についてのセミナーの間に、長めの休憩かつ名刺交換の場を設け、その後、セミナーを続行するという形式をとりました。ご参加下さった皆様の間で、積極的かつ活発な名刺交換が行われ、結果として、良かったのかなと考えております。今後、収益10億円超等の社会福祉法人様が監査対象となった場合、このような機会はとても有効かつ社会貢献になると考えた次第です。

最後に、県及び市の監査課及び社会福祉協議会のご協力、アドバイスを下さった正副会長、講師を引き受けて下さった両副委員長、当日誘導をして下さった委員、そして、何よりも、細部にわたり、綿密な準備をして下さった事務局の皆様に本当に感謝申し上げます。ありがとうございます。　（大野　夏美）

中小企業支援コンベンション

平成30年10月19日（金）16時より、中小企業支援コンベンションをホテルブリランテ武蔵野２階サファイアにおいて、また、その懇親会を同日18時より、同ホテルの２階エメラルドＡにおいて開催しました。ご来賓・ご招待者と埼玉会会員を合わせて100名近くの方にご出席をいただき、盛大に開催することが出来ました。主なご招待者は、国・自治体関係、関係団体、金融機関、関係士業等でした。

この中小企業支援コンベンションは、中小企業の事業承継支援をテーマとして、私たちと中小企業の支援を担う関係諸団体との意見交換の場を設け、事業承継に関する理解を深めることで、連携して中小企業の支援に資する機会とすることを目的として開催しました。

コンベンションは、司会を青山中小企業支援対応委員会副委員長が担当し、工藤副会長の開会の辞、小山会長の主催者挨拶の後に、ご来賓の財務省関東財務局の田中琢二局長と柳澤本部副会長にご挨拶をいただきました。

また、経済産業省関東経済産業局の山口栄二産業部長に「事業承継の集中支援について」をテーマとして、主に事業承継の課題と支援策の全体像、及び、公認会計士の皆様にお願いしたいことについて、基調講演をしていただきました。

その後、中小企業の事業承継支援をテーマに、４名のパネリストによるパネルディスカッションを行いました。

パネリストは、株式会社地域経済活性化支援機構の渡邊准代表取締役専務、埼玉県事業引継ぎ支援センターの石川峰生統括責任者、株式会社日本政策金融公庫　さいたま支店　国民生活事業の藤野信裕事業統轄、中小企業支援対応委員会副委員長の増田公認会計士にご登壇いただき、私中澤が進行役を務めました。

前半は各パネリストの自己紹介及び所属されている組織紹介等の後に、中小企業の事業承継の現状等について、お話をしていただきました。後半では、事業承継ガイドラインの「事業承継に向けた５ステップの進め方」の各ステップに沿って進める形で、パネリストから様々なお話をしていただきました。

最後に、西川副会長による閉会の辞でコンベンションは閉会となりました。

懇親会は、司会を福島中小企業支援対応委員会副委員長が担当し、佐久間副会長の開会の辞で始まり、ご来賓の財務省関東財務局の田中琢二局長に再度ご挨拶をいただき、続いて田之倉東京会副会長にご挨拶をいただきました。酒井本部常務理事に乾杯のご挨拶をいただき、しばしの歓談となり、土屋副会長による閉会の辞で閉会となりました。

埼玉会としては初めての試みでしたが、滞りなく開催できたと考えています。ご協力をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

（中澤　仁之）

表敬訪問

関東財務局長表敬訪問

昨年６月12日に小山会長、西川副会長、私の３人で関東財務局長を訪問しました。昨年８月に開催された公認会計士制度70周年記念式典と昨年10月に開催された中小企業支援コンベンションへの出席をお願いしたところ快く引き受けて頂けました。埼玉県の特徴や地域経済の状況について短い時間でしたが話すことが出来ました。毎年恒例となった関東財務局長を初め関東財務局の皆様と我々埼玉会とで行う研修や懇親会をまた企画したいと思います。（土屋文実男）

関東信越国税局長及び関東信越国税不服審判所長訪問

東京会、埼玉会及び税務業務部会関東信越分会の合同で、平成30年10月29日に、関東信越国税局長、及び関東信越国税不服審判所長を訪問しました。

まず、垣水純一関東信越国税局長を訪問しました。訪問者は、東京会側が淺井万富会長、久保直生副会長、小岩宗雄事務局長、埼玉会側が小山彰会長、清水克事務局長そして税務業務部会関東信越分会長佐久間仁志でした。関東信越国税局側の陪席者は、工藤克宜総務部長、澤野高雄総務課長、竹澤孝行税理士管理官でした。

次に、栗原一福関東信越不服審判所長を訪問しました。訪問者は、東京会側が淺井会長、久保副会長、小岩事務局長、埼玉会側が小山会長、清水事務局長そして関東信越分会長佐久間でした。関東信越国税不服審判所側の陪席者は、藤井修一第一部長審判官、小林哲彦第二部長審判官、桜井昇管理課長でした。

今年度も昨年度同様、国税局及び国税不服審判所共に、協会の税務相談室相談員に国税局又は国税不服審判所OBを活用いただいていることへの謝辞と、税務業務部会や埼玉会で行う税務研修への講師派遣について積極的に協力したい旨の申し出をいただき、成果のある訪問となりました。（佐久間仁志）

埼玉県知事表敬訪問

平成30年11月22日に埼玉県本庁舎に小山会長、森山常任幹事、中村幹事、川島幹事、清水事務局長および土屋の６名で上田清司知事を表敬訪問しました。小山会長から、昨年の８月４日に公認会計士制度70周年記念事業式典で上田清司知事にご挨拶をいただいた御礼と、本年１月23日に開催する賀詞交換会への出席をお願いしました。埼玉県では、今年の９月に熊谷でラクビーワールドカップが開催されること、翌年には、オリンピックにおける複数の競技で埼玉県の施設が競技場として利用されることなど催し物が目白押しであることが話題になりました。

（土屋文実男）

暮らしと事業のよろず相談会

暮らしと事業のよろず相談会は、毎年11月の第１土曜日に浦和コルソの７階ホールで開催されるもので、昨年は11月３日の文化の日に開催されました。11士業団体が持ち回りで当番会となり、事前の準備作業、年４回の幹事会、そして年次総会である定例会を仕切ることになります。平成30年度は埼玉県社会保険労務士会が当番幹事で、綿密な準備の下、当日の開催に至りました。埼玉会からは、中澤仁之常任幹事、川島弥生子幹事、小笠原薫子幹事、そして私の４人で参加してまいりました。

当会は会計・監査の専門家という立場で参加しているのですが、相談者は一般市民の方々が多く、事業関連の方が相談に来られるのは稀です。そのため、当会への相談内容も税務関連のものがほとんどです。そういう状況の中で、昨年は社会福祉法人の管理業務を担当されている方が相談に来られて、月次及び年度決算業務における処理方法及び考え方等、様々な内容について約１時間にわたって相談されました。このことも、当会が推進している地域貢献活動が少しずつ浸透してきている証左として、うれしく思いました。

また、昨年のよろず相談会は例年になく相談者が多く、とても忙しい一日でした。全体の相談者も、通常は約100人なのですが、昨年は170人を超える相談者が来場されて、どの士業団体も相談者が増えたとのことでした。今年度は、当会が当番幹事の年です。昨年以上の結果を残せるように、是非とも会員皆様のご協力をお願いいたします。　（工藤　道弘）

巡回研修越谷大会

平成30年11月17日（土）に、越谷で巡回研修会が行われました。越谷で巡回研修が行われるのは７年ぶりとのことで、「砂場」というお蕎麦屋さんのホールという研修としては珍しい会場でした。越谷市在住の長田会員が司会をされ、研修会のテーマは「最近の相談事例から（資産税の個別事例の検討10例程度）」というものでした。講師は、日本公認会計士協会の租税相談員である鈴木正孝先生であり、先生の豊富なご経験をもとにご講義をしてくださいました。内容は、個別事例の検討ということで、資産税に関する普通では出あわないような話が多く、大変勉強になりました。冒頭では小山会長の挨拶もあり、最近の公認会計士協会の動向についても知ることができました。

研修会の後は、会場の隣の部屋で懇親会が行われました。参加人数は、研修会から数名減って25名でした。今年度から加入された事務局長と事務員の方２名のご紹介もあり、17時から19時までという懇親会としては早い時間ではありましたが、大変盛り上がりました。会計士協会埼玉会の懇親会は、偉い先生方も多くどこにいてよいかよくわからないのですが、新しい方と知り合うこともできます。人と人との関係は、知り合わなければ始まらず、お互いに大切にしていればその後つながることもあります。このような機会はそれほど多くはありませんので、皆様も積極的に参加してみてはいかがでしょうか？　（興松　敬史）

スリーデーマーチ

東松山市で11月に開催されるスリーデーマーチ（ウォーキング大会）に、昨年も埼玉会は参加いたしました。例年３日間開催されますが、埼玉会は最終日の４日に参加しました。

今年の天候は曇りとなり、若干気温も低く肌寒いコンディションでした。ウォーキングの距離は５㎞から50㎞と様々ですが、殆どの会員は10㎞を選択します（私も６年連続で10㎞を選択しました）。10㎞の場合、時間は10時～14時（途中昼休みあり）くらいです。

スタート地点では、恒例行事となっていた檀上でのアピールタイムがなくなってしまいましたが、会員が２名交代でのぼりを持って歩きますので、アピールタイムは十分だったと思います。ウォーキング中は、普段聞けない仕事の話やプライベートの話、埼玉会の話など、より一層親睦を深めることができますので、あっという間に10㎞が終わります。

ウォーキング後は、これまた恒例の懇親会です。東松山は焼き鳥（辛味噌だれの串焼き豚）が有名ですので、これを食べずに帰るわけにはいかず、焼き鳥専門店で懇親会を開催しました。懇親会まで少々時間がありましたので、待てずにスタート会場でビールを飲む会員が続出していましたが（笑）。

来年も開催予定ですので、新規会員を含めたたくさんの会員の御参加をお待ちしています。　　（村田　克也）

青年部研修会

埼玉会では、平成28年度より49歳以下の会員及び準会員による青年部を立ち上げて活動しています。

平成30年度の主な活動として、昨年度に引き続き、会員向けに研修会を企画するとともに青年部向けに懇親会を開催しました。

研修会及び懇親会は、平成30年11月28日（水）に開催しました。研修テーマは、「退職給付会計に関する監査実務（不正事例とその留意点）　～他の専門家の立場からの視点も踏まえて～」で、講師は青年部で日本アクチュアリー会準会員の市川健氏にご担当いただきました。研修には20名を超える会員が参加し、アクチュアリーである講師から、退職給付会計に関する監査実務を学びました。また、懇親会には16名が参加し、大変盛り上がりました。

青年部は、定期総会や賀詞交歓会等の各種行事の準備や受付を手伝うなど、会務運営においても欠かせない存在となっています。青年部の皆様、いつもご協力をありがとうございます。

今後の活動としては、従来からの研修会及び懇親会に加えて、勉強会やレクリエーションなども開催し、さらに懇親を深めていきたいと考えています。

49歳以下の会員及び準会員の皆様、是非とも、積極的な参加をお願いします。　　（中澤　仁之）

制度説明会（駿河台大学）

2018年11月13日（火）、埼玉県飯能市の緑あふれる環境にキャンパスを構える駿河台大学にて、市川紀子教授ご担当の経済経営学部の簿記原理Ⅱのお時間を頂戴し、特別講義として制度説明会を開催して参りました。

制度説明会では、監査法人を舞台にした公認会計士監査に関わる動画を見て公認会計士の仕事や制度の大枠をつかみ、パンフレットを用いて公認会計士の仕事の一部（監査・税務・株式上場支援・アドバイザリー・独立開業・海外駐在・組織内会計士）や試験制度についての説明をした後、合格体験談を行いました。

合格体験談では、駿河台大学の卒業生である木村亮平会員、舩津丸仁会員にご講演いただきました。木村会員からは、学生時代に簿記原理を履修して興味を持ったことをきっかけに公認会計士を目指したことを挙げ、きっかけは些細なものでも、真剣に挑戦できるものを見つけて欲しいというメッセージをいただき、舩津丸会員からは、公認会計士を取り巻く環境と仕事を具体的にイメージしやすくご説明いただきました。

受講生は市川教授の簿記原理Ⅱを履修する大学１～２年の学生を中心で、公認会計士の資格を知らない学生も多い状況でしたが、講演中の受講生はとても真剣に、集中して聞いていただけたように感じます。制度説明会終了後には、受講生から「公認会計士の仕事に大変興味をもった」「卒業生に憧れをもった」など多くの感想が寄せられ、非常に意義のある制度説明会となりました。

また、今回は市川紀子教授のご尽力により実現した駿河台大学での初めて開催した制度説明会でした。この場を借りて厚く御礼申し上げます。　（青山　裕之）

忘年研修会

12月15日（土）に、年末恒例の忘年研修会及び懇親会をTKP大宮駅西口カンファレンスセンターで開催しました。当日は講師として、会計検査院長の小林麻理氏をお招きし、会計検査院の検査の観点、決算検査報告を中心に約３時間にわたり熱弁をいただきました。研修会後の質疑では、20年以上前に日本公認会計士協会と会計検査院との定期協議会が開催されていたことが当時の本部役員から紹介され、またその他会員からも質問が寄せられる等、有益な研修会であったと思われます。また研修会終了後に開催されました懇親会にも小林院長は最後までご出席をいただき、出席した会員の皆様と大変楽しいひと時を過ごしました。

小林院長は12月７日に院長に任命されたばかりで、かつ会計検査院の138年という長い歴史の中で初めての女性院長とのことです。

偶然とはいえ、大変素晴らしいタイミングでの研修会となったものと思っております。

なお、小林院長は小山会長と大学及び大学院が同期であり、ある会合で小山会長が小林院長（当時は会計検査院検査官）に口頭で依頼をしたところ快諾をいただいたということで、本来であれば現職の会計検査院長直々による研修会など、依頼することが難しい研修会が実現したことで、年の終わりを飾る素晴らしい企画であったと思います。　（清水　　克）

相談役
コラム

古希を迎えて

相談役　吉島　一良

昭和24年生まれの私はまもなく70歳となり、古希を迎えたこととなる。古希とは長寿の祝いの一つであり、詩人杜甫の「酒債は尋常行く処に有り　人生七十古来稀なり」に由来するそうだ。

私は大学卒業後24歳から大手監査法人に勤務し、30歳で父の公認会計士事務所に入った。その後35歳になってまた監査の機会が訪れ、今日まで続けている。

35歳に責任者となった関与先は今年で35年となり、引き際を考えている。その会社は金融商品取引法が平成19年施行されて提出基準が緩和されその翌年に提出基準を満たなくなったが、それまでは有価証報告書に20年を超える監査継続年数が記載され、いささか抵抗を感じた。また、協会のレビューも無くなりほっとした年でもあった。

最大５社あった法定監査も、今は会社法２社と法人１社の３社となった。上記の会社は監査法人との共同監査につき、後任を探す必要は無くいつでもやめられそうだが、そう簡単にはいかない。もう１社は関西にあり、ここもすでに20年を超えているが一度追い出しにかけられそうになったことがある。10年以上前のことであるが、親会社からパワハラ役員が送り込まれてきた。当初の目的は代表取締役専務を退職させることの様であったが、それはすぐに成就し、経理課長もパワハラで期末監査の前日に体調を崩し、矛先が地元ではない私に回ってきた。長年監査をしていると、ひるむわけにはいかない場面に遭遇するときがあるようだ。真下先生・山本先生のように迫力があれば良いのだが、その時だけは肝を据えて戦った。会社の監査を辞めてもよい決意でいたので、出来たのかもしれない。同席した地元の補助者の公認会計士から拍手喝采を受けた。その後は順調に行っているが、事件後社長になった方が昨年71歳で退職された。結果として両社とも役員を含め私が一番年上になってしまった。

昨年５月関西の上場会社の会長をしている小学校の同級生と出張時大阪で会食した際、72歳まで会長を務めることになったと言われ、私もその年を目標にレールをひき始めた。関西の会社の補助者の先生は、監査を開始してから何年かして協会から補助者を付けるように指示を受け、京滋会にお願いして頼むことが出来た人であり、その当時大手監査法人から独立したばかりであったが、今では四条の新しいビルに事務所を構え、東奔西走の日々を送っている。事務所規模・内容とも私の事務所をはるかに超えてしまったが、監査予定日には特に注文を付けず、きちんと従事してくれるので助かっている。

その先生に監査を引き継ぐことを伝えたが、本人も忙しいためかもう少し続けてくださいと言われてしまった。その会社の監査役もその先生の知り合いの公認会計士になってもらったので、外堀は固めることは出来たと思っている。

つたない私の監査経験を書かせていただいたが、これが出来たのも若いときから埼玉会に出て行って、埼玉会から推薦を受け東京会の幹事をしたり、埼玉県の公金管理検討委員会の座長を初回から３期務めさせていただいたりしたおかげと感謝している。

今日の埼玉会には若さを感じ、相談役として名前を連ねていただくだけでも光栄だし、少しでも協力していければと考えている今日この頃である。

会員コラム

遅れてきた新人

増田　一

皆さん、はじめまして。さいたま市南区で公認会計士事務所を開いています公認会計士の増田一と申します。

事務所は南浦和駅から公称３分（笑）の、住宅街の一角にあります。ちなみに、事務所は自宅と兼用で、１階が事務所、２・３階が自宅になっています。現在、職員は７名で、日々それなりに楽しく業務をやっています。私の事務所の特徴としましては、職員が事務所で業務を行う際には、カジュアルな服装で業務を行っていると言うことです。従来、男性は少なくとも、事務所にいる時もスーツで仕事をしていたいのですが、クライアントにIT系のベンチャー企業も多いので、今年の夏から事務所で仕事をする際には、カジュアルな服装で勤務可能と変更しました。

これは余談ですが、現在会計事務所は非常に求人が大変なので、カジュアルな服装で勤務可能なことを売りにするのは、マーケット的にありだなと思っています。さて、私自身が事務所で仕事をしていて、その後埼玉会の中小企業委員会に出席する際には、そのままカジュアルな服装で出席しますので、皆さん驚かないで下さい。ちゃんと仕事はやっておりますので～笑

事務所の業務内容としては、いわゆる税務業務が中心です。現在、法人、個人の税務業務を中心に、事務所をやっています。

公認会計士なので、会計と税務が交わるところの業務は意識してやるようにしています。

例えば、いわゆる株価対策として株式交換を行い、その後合併を行う等の組織再編もやっています。ただし、会社分割はやったことがありません。会社分割は、組織再編のなかで一番複雑だと思っていますし、公認会計士以外の社会保険労務士、司法書士等の専門家の密接な連携が必要だからです。

また、弁護士さんと協力しての民事再生業務、破産も含めた会社清算業務もやっています。

とりあえず、新しいことをやるのは好きなので、自社のクライアントで発生した問題は、なるべく対応するようにしています。ただ、自分一人ではやれることは限界があるので、公認会計士や税理士の友人と一緒にやることも多いですし、必要だと思っています。

私の事務所の特徴としては、補助金の導入支援、銀行融資を受けるための事業計画の作成・財務のコンサルティングを通じて、顧問税理士さんが別にいらっしゃるクライアントのお手伝いをしていることでしょうか。クライアントのお金にまつわる問題を解決するってことでやっています。

さて、公認会計士協会埼玉会への参加ですが、手帳をめくってみましたが平成28年の10月が最初でした。それまで一度も埼玉会に参加したことがなかったのですが、中小企業委員会で委員を募集しているのを知り、応募して参加したのが最初のきっかけでした。

はじめて参加した中小企業委員会は楽しくて、その後できる限り参加するようなりました。こんなに楽しいのなら、もっと早くに埼玉会に参加すれば良かったと後悔したのをよく覚えています。残念ながら、年齢的に埼玉会の青年部には参加できないのですが、若い公認会計士の皆様は、是非埼玉会の中小企業委員会に参加して、青年部の集りに参加してほしいと思っています。

中小企業委員会の後は、楽しいメンバーとの懇親会が、ほぼ毎回ありますので、是非参加して下さい！楽しい仲間と、皆様の参加をお待ちしております。

会員コラム

埼玉会に参加して

西田　英樹

明けましておめでとうございます。新春を健やかにお迎えのことと存じます。

都内の監査法人に30数年勤務後退任し、平成17年７月から自宅で独立開業したことから埼玉会に所属しております西田英樹と申します。埼玉会では、今年の９月ごろから、中小企業支援対応委員会やNPO法人委員会、社会福祉法人委員会に途中参加させていただいておりますが、皆様大変快く迎え入れてくださり、すんなりと参加できました。

埼玉会の会員は、個人で開業している先生が多く、若い人からベテランまで幅広く距離感が近く情報交換と協調の場となっているように感じています。

事務局の方々も、大変親切で会を盛り上げていこうという情熱と誠意が感じられ親しみ易く、その思いに応えねばという気持ちになります。

中小企業支援対応委員会では、埼玉会では初回となる中小企業支援コンベンションの開催１か月半前、準備の真っ只中からの参加でした。10月19日のコンベンションは大盛況で、委員長の中澤先生や担当副会長の工藤先生、パネリストを務められた増田先生並びに各委員の方々の献身的な努力とグッドパフォーマンスに埼玉会の底力と一体感を感じ頼もしく思うと同時に、最後まで気持ちよく参加させていただいたことに大変感謝しております。

社会福祉法人委員会の研修会では、埼玉県、さいたま市の社会福祉法人監査に関わっておられる方々の監査上、会計上の疑問点に応える形式で、意見交換が行われました。日々社会福祉法人の監査を行っておられる担当者様と直接お話させていただく機会は貴重で地域社会に密着した活動は気付きが多く実り多い機会であると思いました。大野委員長の努力と周到な準備に感謝です。

NPO法人委員会が企画した研修では、行政の共助社会づくり課のご担当者様から子ども食堂を中心に様々な取り組みの紹介があり、ボランティア活動と事業の融合の可能性に新たな発見と興味を持つことができました。NPO会計税務専門家ネットワーク理事長の脇坂誠也税理士のお話は、大変実務的で為になる内容で素晴らしかったです。金子委員長の企画力に感服しました。

CPE40単位を取ることは、監査法人勤務時に比べて、自主的に計画して履修することになるので大変厳しいですが、埼玉会で企画してくれる多彩な研修会や委員会に参加しながら、楽しく前向きに取り組んでいくと同時に生涯100年時代において、いち公認会計士としてどのような形で社会に参加するのか、そして少しでも社会貢献できるように模索して行きたいと思います。

趣味は、もっぱらゴルフで30年ぐらい続けています。最近は飛距離の低下に悩まされていますが、歩く・動く、同伴競技者と交わる、時を共有する、時たま訪れるバーディーパットやパーパットの一瞬の緊張感と開放感を味わえる、競争心を呼び戻す等々ゴルフの魅力は、いくつになっても何ラウンドしても尽きません。埼玉会には「ゴルフ同好会」があるとの事なので、是非とも参加したいと思います。

最後に、このような原稿を掲載していただく機会に感謝し、

＊全ての基本は健康

＊どうせとるなら楽しくCPE

＊社会貢献・ボランティアで恩返し

をテーマに人生100年時代の後半を充実したものにしていければと思います。ご指導・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

会員慶弔見舞

謹んでご冥福をお祈りいたします
（H30.9～H30.11）
　長賀部　千舟　様　［平成30年９月１日　82歳（金井千尋会員　御母堂）］

会員数（平成30年11月30日現在）

種別	会員				準会員						合計
	公認会計士	外国公認会計士	監査法人	計	一号準会員	二号準会員	三号準会員	四号準会員	五号準会員	計	
埼玉	729	0	0	729	4	35	0	90	－	129	858
全国	31,180	2	232	31,414	78	620	0	4,964	155	5,817	37,231

（注）１．一号準会員は、公認会計士及び外国公認会計士となる資格を有する者
　　２．二号準会員は、会計士補
　　３．三号準会員は、会計士補となる資格を有する者
　　４．四号準会員は、公認会計士試験に合格した者（一号準会員に該当する者を除く。）
　　５．五号準会員は、特定社員（地域会には所属しない。）

事務局紹介

　埼玉会の事務局を紹介させていただきます。
　私は昨年６月から事務局長として本部から出向し、12月からは埼玉会に転籍をして今後も奉職をさせていただくこととなりました。また、前号でもご紹介をしておりますが、職員として松木康子及び左近司綾香が引き続き勤務をしております。さらに昨年11月からは市村恵が加わり、計４名の体制で埼玉会事務局を運営していくことになりました。
　埼玉会会員・準会員の皆様の少しでもお役に立てるよう、一同頑張ってまいりますので何とぞよろしくお願いいたします。
（事務局長　清水　　克）

　総務・経理を中心に担当します。新体制になり、より一層のサービスを提供できるように頑張ります。　（松木　康子）

　研修を中心に担当します。会員の皆様のご要望にお応えできるよう、精一杯頑張ります。　（左近司綾香）

　広報を中心に担当します。埼玉会の運営がスムーズに進むよう、精一杯頑張ります。　（市村　　恵）

左から順に、左近司、清水、市村、松木

埼玉会ホームページ　http://www.saitama.jicpa.or.jp

日本公認会計士協会埼玉会
〒330-8669
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビル8階
TEL：048-644-9050　FAX：048-644-9054
E-mail：saitama@sec.jicpa.or.jp
URL：http://www.saitama.jicpa.or.jp

SAITAMA CPA NEWS Vol.7 2019.1
発行人：埼玉会会長　小山　彰
編集人：副会長（広報委員会）　佐久間仁志
構　成：常任幹事（広報委員会）　芳原勝伸
印刷所：株式会社正文社
写真提供：埼玉会写真同好会
表　紙：埼玉会写真同好会